

STROKE2013 ランチョンセミナー22

# 脳血管外科手術における 脳血流SPECTの役割

座 長

岩間 亨 先生 岐阜大学大学院医学系研究科 脳神経外科学

演 題・演 者

99mTc-ECDによる非採血脳血流定量法

松田 博史 先生 国立精神・神経医療研究センター 脳病態統合イメージングセンター

演 題・演 者

脳血管外科手術と脳血流検査  
— そのSPECT、なぜ必要!?! —

高橋 淳 先生 京都大学大学院医学研究科 脳神経外科学

日 時

2013年 3月22日(金)  
12:10~13:10

会 場

K会場: 紅玉(国際館パミール1F)  
グランドプリンスホテル新高輪  
〒108-8612 東京都港区高輪3-13-1

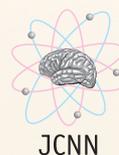
\*本学会ランチョンセミナーは整理券制です。  
下記場所・時間に整理券をお受け取ください。

発券場所: グランドプリンスホテル新高輪 2F ホワイエ  
発券時間: セミナー当日(3月22日)7:00より11:40まで  
ただし、なくなり次第終了とさせていただきます。



共 催:STROKE2013

日本脳神経核医学研究会  
富士フイルムRIファーマ株式会社



FUJIFILM  
富士フイルム RIファーマ株式会社



## About JCNN 日本脳神経核医学研究会について

日本脳神経核医学研究会は、脳核医学に関する基礎および臨床研究の推進とその普及をはかり、それを通じて我が国の学術文化の発展に寄与し、国民の保健と福祉の向上に資すると共に、国際協力につとめることを目的としています。

脳核医学の発展には、放射線科や核医学科において検査を実施する医師や技師に加えて、脳神経外科、神経内科、精神科などで実際の診療に携わる臨床医、装置や医薬品の開発を行う物理工学、薬学、化学などの基礎研究者の協力が不可欠です。本研究会は、これらの学際的な領域の医療関係者や研究者を対象に、セミナーや講演会などを開催して、脳核医学の幅広い普及をめざします。また、脳核医学に関する多くの課題について議論する場を設定して、検査法の確立、臨床使用のためのガイドラインの作成、国際的な枠組みの中で情報交換などを行っています。

研究会の会員相互の情報交換には、インターネットを活用して幅広く情報を提供していきたいと考えています。本研究会が主催、共催する行事や関連研究会の案内もホームページでご覧いただけます。会員が情報を共有するとともに、外部に向けて発信できる新しいタイプの研究会を指向して活動を行っていききたいと考えています。この趣旨にご賛同いただき、脳核医学の発展のために、是非本研究会にご参加下さい。

詳しくはホームページをご覧ください。 <http://www2.convention.co.jp/jcnn/>

**日本脳神経核医学研究会事務局**

〒100-0013 千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞ヶ関ビル18F 日本コンベンションサービス株式会社社内  
Tel:03-3508-1278 Fax:03-3508-1302 E-mail:infojcnn@convention.co.jp

